令和 元 年度 施策評価表

+	施策	0203	教育環境の充実	施策担当部等	教育委員会	教育次長	吉村	武史
).	池来	0203	教育塚境の九 天	施策担当課等	教育総務課	課長	三岳	和裕
佐女	- A-4-1	学校施設	设の充実や中学校給食の完全実施に	取り組むととも	に、児童生徒の心の	ケア体制を	と図る。	また、
旭本	策の方針	高等教育	育の充実や大学誘致を推進する。					

【DO(実施)】 基本計画における目標値

	指標名			H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
				H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
(1	中学校完全給食の実施校数	校	_	1	2	6	6	6	100.0%	100.0%
,	1 1 区/11工程 区 7 八/16区 9人	1.		1	2	6	6		100.070	100.070
0	大学(研究室)等の誘致数	学部	1	1	1	1	1	2	100.0%	50.0%
٧	八子(明儿主)中心的女女	7-10	1	1	1	1				
(3										
<i>y</i>										
4										
D										
(5										
9	1									

施策達成状況の説明

中学校完全給食の実施校数については、平成29年から完全給食を先行実施している萱瀬中学校、玖島中学校に続き、中学校給食センターが平成30年6月に竣工したことにより、8月から西大村中学校、郡中学校、大村中学校、桜が原中学校においても完全給食を開始し、平成30年度の目標値を達成した。これにより、本市の全中学校における完全給食の実施が実現した。 大学(研究室)の誘致については、近年、大学運営を取り巻く環境が厳しくなる中、本市の特性や時代のニーズ等に合った大学等の表現より思い。

誘致を目指し、調査、研究等を行っている。

施策経費

	(単位:千円)		H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
		事業費	732, 804	1, 731, 101	1, 164, 445	
		国庫支出金	43, 873	167, 366	3, 845	
内		県支出金	0	0	0	
訳		地方債	232, 100	957, 600	39, 300	
		その他	1,940	28, 989	510, 673	
		一般財源	454, 891	577, 146	610, 627	
	人件費		109, 932	117,600	_	
	フルコスト		842, 736	1, 848, 701	-	

施策の概要 児童生徒が安全で安心して学べる環境づくりを目指し、老朽化した学校施設やグラ ウンドの改修などを計画的に進めます。 020301 学校施設・設備の充実 また、効果的な授業が実践できるよう、ICT機器等を計画的に整備します。 小学校給食センターの適切な運営を行い、安全・安心でおいしい給食を提供すると ともに、食育を推進します。 また、成長期にある中学生に栄養バランスのとれた給食を提供するため、中学校給 020302 学校給食の充実 食の早期完全実施を目指します。 児童生徒の悩みの解消や不登校、いじめへの対応を図るため、教育相談員やスクー ルソーシャルワーカー、心の教室相談員の配置など、カウンセリング機能を充実さ 児童生徒の心のケア体制 せるとともに、関係機関と連携したいじめ防止対策を強化します。 020303 の充実 また、小・中学校の教職員が連携し、中1ギャップの解消に努めます。 優秀な人材を育成するため、高校の教育内容や施設の充実、時代のニーズに対応し た学科の新設などについて要望を行います。 高等教育の充実や大学等 020304 また、企業や試験研究機関の集積、利便性の高い高速交通体系など、地域の特性を の誘致 活かして、大学等の誘致を目指します。

【CHECK(評価)施策担当部長】

本市の学校施設は、建設から30年以上を経過する建物が全体の8割を占め、今後、建替又は大規模改修に多額の費用が必要となる。しかしながら、厳しい財政状況の中、学校施設の整備を集中的に行うことは困難であり、財政運営に大きな影響を与えることから、単なる更新のための改修・改築ではなく、国が示す、施設を長い期間、有効利用できる長寿命化改修 への転換が必要である。

令和2年4月からの学校給食費の公会計化の実施に向け、給食費システムの選定、学校や金融機関との協議及び調整が必

施策を達成 要となる。 問題点・課

【CHECK(評価)評価調整委員会】		
	_	
		_

【ACTION(改善・改革)】

- ・学校給食費の公会計化に向け、円滑に移行できるよう関係各課、学校、金融機関等との協議及び調整を行う。 ・学校適応指導教室「あおば教室」の在り方について再考する必要があるため、今後関係者が協議を重ねる予定である。 具体的には、第2のあおば教室を設置するために場所や指導内容及び指導者等について協議予定である。

問題点・課 題を踏まえ た施策構成 事務事業の改善・改革 や新規事業 についての 考え方

<u>令</u>	令和2年度新規事業							
	事業名 (仮称)	担当課	R2年度見込 事業費(千円)	対象・事業概要など				
1								
2								
3								
4								
5								
			0					